

金銀の光彩—日本画のきらめき

会 期 2012年10月13日(土)～2012年12月16日(日)

「装飾性」は日本画の特徴のひとつですが、中でも金や銀といった金属を用いて画面を彩る技法は、古くからなされてきました。金銀の輝きは画面を荘厳し、あるいは永遠性や象徴性を伴う空間を生み出し、きらめく色彩として作品を華麗に装います。

金属をたたいて薄く伸ばした「箔」を貼付する他、箔を細かい粉末状にした「泥」、箔を小さな方形に切る「切箔」、糸状に切る「野毛」、また網目を通して細かく蒔く「砂子」などの形態の違いや、絹の裏側に箔を貼る「裏箔」など、技法は多岐にわたります。そうした金銀の光彩は、作品の装飾性を高めるとともに、強い魔力で観る者を魅了します。本展覧会では、金銀などによる表現が施された近代・現代の日本画作品をとおして、さまざまな箔の技法や新たな可能性を紹介し、艶やかな金のきらめきと密やかな銀の輝き、プラチナの冴えた光…それぞれの魅力をお楽しみいただきます。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開 館 時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日

会期中の休館日：10/15・22・29、11/5・12・19・26、12/3・10

観 覧 料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
- 10月28日(日)は県民の日につき無料開放します

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 講演会「現代につづく日本画材の魅力」 日本画家・神戸智行 11/17 14:00～
- 学芸員による作品解説会 10/13、10/28、11/10、12/2、12/15 14:00～